

2018年度九州若手数学賞（受賞理由の確認）2名（あいうえお順）

第7回九州若手数学賞受賞者と受賞題目・受賞理由

鎌田祥一、熊本大学大学院自然科学研究科

業績の題目： Fractal Analysis and Cryptography in Diophantine Inequalities
of p -adic Numbers

受賞理由： 鎌田祥一氏は、 p -進解析とその暗号理論への応用を主目的とする研究を行っており、 p -進数のディオファントス不等式におけるフラクタル次元解析と暗号理論の研究について優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会を含む国内外において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。

松坂俊輝、九州大学大学院数理学府

業績の題目： 多重調和弱マース形式の研究

受賞理由： 松坂俊輝氏は、整数論における保型形式論の新しい分野の研究を行っており、多重調和弱マース形式の研究について優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会を含む国内外において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。